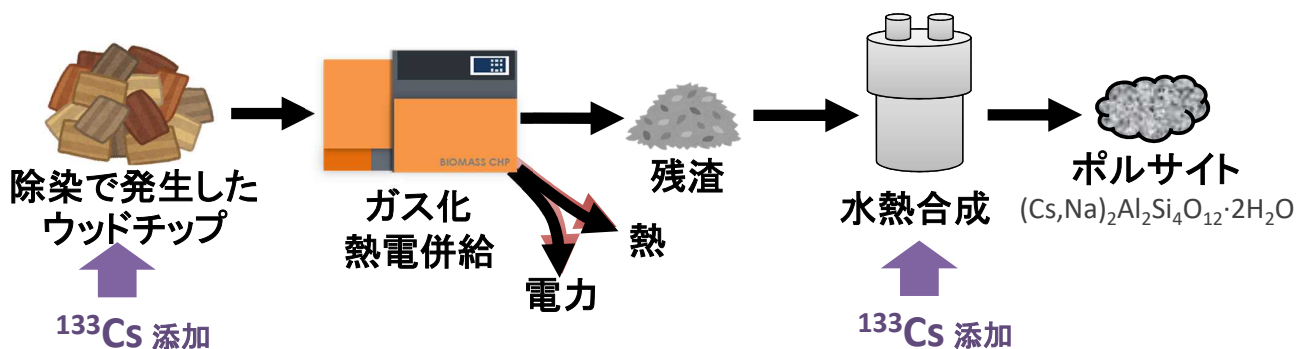


【目的1 / 福島型 木質バイオマスガス化発電の確立】

木質バイオマス発電とその残渣(灰)のポルサイト変換の逐次反応を念頭に、ポルサイト作成時に添加する安定同位体セシウムを発電時に添加することで、発電の高効率化するシステムの確立を目指す。この残渣(灰)のポルサイト変換を通して能動的森林除染システムを提案する。

- ▶ セシウム添加木質バイオマスのガス化における効率化手法の確立
- ▶ セシウム添加木質バイオマスガス化灰のポルサイトへの変換条件確立



【目的2 / 放射性セシウムの最終処分と安全評価】

放射性セシウムの最終処分形態の一つと言われているポルサイトが、どのくらい優れているかを、特殊な2つの手法を用いて検証する。

- ▶ ポルサイトからのセシウムの漏出試験と他の物質との漏出性能比較
- ▶ ガンマ線を用いたポルサイトの耐放射線性試験とその条件検討



←
京都大学複合原子力科学研究所
ガンマ線照射施設にて実験を行う